

NPO法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
ナルク (NALC) 宝塚・川西・伊丹・猪名川

《 ささえあい 》 12月号

事務所 〒666-0015 川西市小花2丁目25-1 TEL・FAX 072-759-3269

メール nalc.sasaeai@gmail.com HP: [ナルク宝塚・川西] 検索 →

会員数 11月30日現在 133世帯・会員190名・賛助会員 9名・4社



2024 年新春懇親会のお誘い

事務局

掲題の件、2024 年 1 月 20 日(土曜日) 12 時~15 時 30 分 アステ川西 6 階ホールにて開催いたします。

当日は美味しいお弁当を食べながら会員の皆様の特技披露、外部ボランティア有志の新春落語・相撲甚句等のアトラクションを楽しんでいただきます。チャリティバザーも行いますので、ご家庭で眠っている物品があれば当日ご持参下さい。

参加費はお弁当・お茶付きで 2,500 円です。新春でもありますので、お神酒も用意して皆様方のご参加をお待ちします。

出欠の葉書を 12 月会報に同封していますので、ご返事を 25 日までに投函してください。

【リーダー養成講座に参加して】

中尾俊充 (宝塚)

11 月 9 日(木)・10 日(金)に中之島センタービル会議室で開催された「拠点リーダー養成講座」を受講しましたので、報告いたします。

北は、北海道中標津・函館から、南は松山まで 16 名、本部 7 名の計 23 名が参加しました。ナルクについて、理念、定款、預託制度等の説明の後、3 グループに分かれて討論をしました。

【与えられたテーマは、】

1. 「時間預託活動の活性化を図るには」
2. 「明日のナルクに期待することは」
3. 「地域でナルクの会員を増やすには」

の 3 つで、この中から 1 つ選ぶ、ということで、3 グループとも 3. でした。やはり全拠点が、会員減少に危機感を持っていることの表れと云えます。

【結 果】

1. 地元新聞、FM放送等のマスコミを活用して、ナルクの周知度を向上。
2. 定年退職直後等の若い世代に加入してもらうため、有償ボランティアの比重を上げる。
3. 学童保育後の補完等、子育て世代の応援、支援を通じて若い世代に存在を知ってもらい、将来の加入に繋げる。
4. 地元の大学、ボランティア・センター、社協、自治体等と連携強化。
5. 楽しいナルクにするため、同好会活動を充実。
6. 活発な拠点の成功事例を共有。
7. 時間預託制度の抜本的見直し。
8. 連合、各単組との連携等、定年退職者の供給源への積極的アプローチ。

【活発拠点情報】

次の拠点は特に活発な活動を実施し、会員数も維持、若しくは増えている。

因みに会議中に、函館拠点より、38 才の新入会員の連絡あり。

- ・函館：地元の大学、マスコミ、行政と連携し、大学生との協働、マスコミへの情報発信。ヘルプ・カードの作成、配布等も(サンプルおよびデータ受領)。



中尾さん

- ・高槻：子ども食堂、学童見守り等を通じて、子育て世代を支援。
- ・枚方；各種ボラ組織と連携し、非常に活発な事業活動を展開(年間 1 千万円以上の収入)。
活動次第で、まだまだナルクの有存在意義はあることが判明するも、かなり属人的。
私は 2、7、8 を強調しました。

特に、8. について提案しましたが、各拠点で拠点会員の出身母体へ働きかけて欲しい、とのことで、本部が積極的に動く話しにはなりませんでした。

【総括】

まだまだやりようはあるように思われるが、各拠点の自助努力にかかっている。

以上

【秋 ものがたり】

米田典夫（川西）

らくごクラブの秋は、恒例となっている鶴崎さんのおせわです。開催日時と内容について打ち合わせをすませ、編集委員長の平塚さんに会報 10 月号への掲載をお願いしました。



参加者を募ると男性 6 名、女性 5 名でうれしいことに上西（玲）、藤原（昌）、中尾さん 3 名の初参加がありました。

前日までに鶴崎さん、北川さん、伊藤さんが、食料品の買だしと会場の準備を終えてくれています。ありがとう。

11 月 4 日の 11 時に能勢電鉄の始発駅日生中央駅に集合、いい天気にもぐまれました。2 台の車に分かれて猪名川町北田原の里山に 15 分で着きました。

ここは鶴崎さんの野菜づくり仲間が集う、手づくりのハウスと果樹のひろばで、新鮮でのんびりとした空気がいつも流れています。

お茶にビール、バーベキューといろいろなおつまみ、最後は焼きおにぎりでもんぷくです。

ハウスから手の届くところには丸々と実った富有柿「地主さんからは取っていいよ」とのこと。その場でデザートになったり、持ち帰りの紙袋の中に入ったり・・・。

14 時に楽しかったらくごクラブの秋は終わりました。

道ばたにはコスモスが咲き、たんぼには刈り取りを終えた切り株が里山の秋を告げています。

「実るほどこうべをたれる稲穂かな」

【11 月の入会者】

事務局

※ 泉 ^{あつ} 渥子さん 川西市大和西

色んな行事に参加して楽しんでください。

【今後の行事予定】

事務局

2024 年 1 月 20 日（土）	新春懇親会	12：00～15：30	アステ川西 6 階ホール
2 月 17 日（土）	猪名川クリーン作戦	9：15～11：00	事務所に集合

【時間預託活動と点数】

事務局

	仕事 援助	家事 援助	受託 事業	送迎	事務所 当番等	コーディ ネート	講師	活動 合計	活動 会員数
11 月	82	0	26	0	38	1	6	153	15
4～11 月累計	343	36	193	3	339	12	76	1002	104

【11 月度の運営委員会】

「ハイブリッド会議」

事務局

「10 月活動報告」

・ 仕事援助

利用者：1 名

提供者：大野晏稔さん

・ 家事援助

利用者：なし

・ 介助・送迎

利用者：3 名

提供者：安岡和子、小幡和子、田川幸子の皆さん

・ 受託事業：宝塚ちどり（平塚）：再開意向確認に動いており専属ドクターの許可待ち

うぐいすの森（厚東）：厚東信之、狩野勇・厚東恵美子・柳田きぬ・小幡和子・

北川京子・田川幸子・井上堅也・米田典夫の皆さん

お疲れ様でした

「議題」

1) 専門委員会第 2 回の報告(米田) ……委員会名・目的・目標・工程・検討事項について協議

2) 秋の庭仕事の件(厚東) ……11 月 6 日からスタート 別紙スケジュール

3) 来年の新春懇親会の件(米田・厚東) ……1 月 20 日(土) 12 時～15 時 30 分 アステ川西 6 階ホールで開催・12 月会報に出欠ハガキ同封・オークション：1 円玉募金の案内記事を書き厚東さんが書いて平塚に提出 アトラクション案(落語・相撲甚句・新舞踊・コーラス・ビンゴゲーム)を 12 月の運営委員会に提案

【ググってみました(12)】 「ライドシェア」

井上堅也(宝塚)

ライドシェア(Ride Share)とは、自動車を相乗りすることを指し、ライドシェアリングとも呼ばれます。車の空いた座席を活用し、他者とガソリン代などを負担し合うことで交通費が節約できるため、欧米では安価な交通手段として広く浸透しています。近年はインターネットの発達に伴って事業化が進み、「Uber(ウーバー)」や「Lyft(リフト)」など、自家用車を利用した配車サービスが人気を呼んでいます。拡大するシェアリングエコノミーの一例として、CO2 削減や交通環境改善の観点からも注目を集めています。

日本でも 2007 年に初めてライドシェア仲介サイトが開設されて以降、徐々に認知が進んでいますが、法律で自家用車が有料で客を乗せることが禁止されているため、一部非営利のサービスに限られています。ただし、人口減少社会に向けた利便性から法改正も検討されており、将来的に海外同様のサービスが展開される可能性もあるため、今後の市場拡大が期待されています。

【拠点エリア内の名所史跡のご案内】

「宝塚」

平塚圭彦(宝塚)

「今回は歌劇でなしに別の問題で全国的に有名になっている宝塚大劇場をご紹介します」

1914 年に誕生した宝塚歌劇は「清く、正しく、美しく」をモットーとし、花・月・雪・星・宙(そら)の 5 組と「専科」に属する出演者たちにより華麗な舞台を上演しています。

敷地内には宝塚市が、1993 年にオープンした「新・宝塚大劇場」「宝塚バウホール(1978 年開場)」が併設されています。

宝塚歌劇の舞台に立つためには、「宝塚音楽学校」を卒業しなければなりません。

宝塚大劇場では宝塚歌劇の象徴ともなっている大階段、大小 6 つのせり、直径約 14.6m の廻り舞台、花道、銀橋(エプロンステージ)などの装置を駆使した大がかりなセットの中で、豪華な衣裳に身をつつんだ出演者によるミュージカルやショーの数々が上演されます。

また、専属オーケストラによる生の演奏によって舞台はさらに盛り上がりを見せます。

1938 年以降、17ヶ国、120 都市以上で開催されている海外公演も大成功を納めています。

宝塚歌劇を創設したのは、阪急電鉄や阪急東宝グループを創業した小林一三(いちぞう)翁。鉄道の乗客誘致の一環として 1911 年に誕生した「宝塚新温泉」の室内プールを改造し、1914 年 4 月 1 日、12 歳から 17 歳までの少女 17 名による初めての公演が行われました。



令和元年（2019年）に最高裁小法廷に「性同一性障害特例法」は合憲であるとしていた。4年後の令和5年（2023年）10月25日、最高裁の大法廷は、男性の体に生まれた日本在住の人が身体的な負担などを理由として、手術を受けなくても性別変更を認めてほしいと申し立てていた裁判で、特例法の規定は「違憲」だとする決定を出した。

違憲だとされた理由は、戸籍上の性別変更の要件として5つある中の④生殖腺がないか、その機能を永続的に欠く状態にある（生殖不能要件）である。

大法廷はこの規定が手術を受けるか、特別変更を断念するという苛酷な二者択一を迫るもので、個人の幸福追求権を定めた憲法に違反して無効であるとした。合わせて、国民の意識変化などを理由としたようである。生殖能力を維持して女性が男性に性別変更し、出産した場合、戸籍上の「男性」を母親として認めるのか。性別変更をした元男性が女性トイレや公衆浴場を利用しようとしてトラブルが生じる恐れもあるだろう。

性別は人格の基礎であり、性別を個人が決定できるようになれば、社会の秩序はどうなるのだろうか……。令和5年3月に71歳で亡くなった世界的音楽家坂本龍一さんの最後の日記には「人が生まれると周りの人は笑い、人が死ぬと周りの人は泣いたものだ。未来にはますます命と存在が軽んじられ、命はますます操作の対象となるだろう。そんな世界を見ずに死ぬのは幸せなことだ」とあります。

文芸コーナー

今月は「大横綱の双葉山」の名言です

「我はまだ木鶏たりえず」

この言葉は安芸ノ海に70連勝を阻止された時に言った言葉で、木鶏という言葉は、「莊子」にでてくる「木鶏の教訓」という挿話で、人間が虚心無我になったときに最も強くなるということをおり自分はまだまだその域に達していないことを言った言葉です。

【言葉の由来】

『物色する』

適当な人物や品物を探すことを言います。この「物色」、中国の儒教経典の一つ「礼記」には「いけにえの動物の毛色のよいものを選ぶ事」とあります。つまり、もとは、いけにえを探し求める言葉だったのです。女性が宝飾品を物色する目が生き生きと輝いているのわかるような気がします。また、株式相場で「物色買い」というのは、有望株を見つけて買うことを指します。

【俳句】

『道灌忌 戦 応酬正義とは』

杉木妙子

【短歌】

『手にぶらり白葱一本さげており師走をゆく男見知らぬ人』

松野綾子

【川柳】

『若い頃貴様と怒鳴る上司おり』お題「ハラスメント」 喜楽トシボ



『編集後記』

今年は、秋がなかったように思えるほど、暑い暑いと言っているうちにすぐ寒い寒いというようになってしまいました。毎年異常気象が叫ばれていますが、いまや何が異常なのかわからないくらい予測できない気象が常態になっているようです。

例年12月12日の漢字の日に、今年の漢字が選ばれ発表されます。今年の漢字は「税」でした。一昨年は「金」、昨年は「戦」でした。私は今年も「戦」を予想していましたが、皆さんの予想はどうでしたか？戦争の話題に明け暮れた一年でしたが来年こそ停戦・終戦が実現してほしいと願うのみです。（井上記）